

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成24年9月7日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670600172号
法人名	有限会社 ふれあい
事業所名	グループホーム ポンタ
所在地	鹿児島県阿久根市赤瀬川4295 (電話) 0996-73-4348
自己評価作成日	平成24年6月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員はいつも笑顔で楽しく仕事をしている。また、ホームと入所者の関係だけでなく、御家族とよりよい関係が築ける様努めている。

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成24年8月1日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

阿久根市郊外、海と山の自然環境に恵まれた高台の住宅地に建てられている当ホームは地域に溶け込んだグループホームとしての運営がなされており、特に婦人会との交流は密で婦人会行事への招待、ホームの行事の際の協力体制、運営推進会議への参加などホームの良き理解者となっている。近隣との関係も良好で、災害想定避難訓練時には積極的に利用者の避難誘導にあたってくれるなど協力関係が築かれている。日常的に家族や友人知人の来訪、家族との外出が多く、利用者は入居しても寂しさを感じることなく、家族との良好な関係が築かれている。また、3ヵ月ごとの家族会は、毎回、ほぼ全家族の参加があり、現状報告や今後についての話し合いなどが行われ、家族とともに利用者を支える体制が築かれている。日常のケアについても、車イスはあくまでも移動の手段と捉え、食事の際やソファへは必ず移乗させることを徹底して生活にメリハリができるように支援している。また、排せつについても個々のパターンを把握し、自立に向けた支援を行い、入居後に改善された利用者も多く、現在も半数近くが自立しており、維持できるように支援している。

木のぬくもりが感じられるホームは居心地良く、リビングからすぐに出られるテラスでは畑や山を眺め、ときには食事をしたり、お茶を飲んだりとゆっくりとした時間を過ごしている。これまで忙しかった生活を送ってきた利用者にとってホームは癒しの場所であり、安心して穏やかな日々を過ごせる「家」となっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日の申し送りの前に理念を読み上げている。玄関、日報にも理念を載せている。	個人の尊厳・生活の中の笑顔・認知症の心の声を理念の文言に置き換えている。地域との繋がりについては、重要事項説明書に事業所の方針として「地域の中で安心して暮らし続けられる家」にしていますと明記しており、利用者が地域とつながりながら暮らしを続けられることの重要性を認識している。職員は毎朝唱和して理念の共有と実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の老人会に参加したり、近隣の保育園児が行事に参加してくれている。	地域に溶け込んだ運営がなされており、特に婦人会との交流が密で地域行事への招待やホームの行事の際の協力体制などが築かれている。近隣とも日常的に気軽な付き合いがあり、ホームの防災訓練にも積極的に参加があり、利用者の避難誘導にあたるなど協力関係が築かれている。また、近隣の保育園とも行事の際にもに行き来するなどの交流がある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の老人会で認知症についての勉強会を行い、認知症についての理解を深めてもらい、地域の方の質問、悩み等聞いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回実施。入所者、職員の状況、行事等報告し意見をもらっている。	婦人会会員・民生委員・区長・市職員・家族などの参加があり2ヵ月ごとに開催している。ホームの状況報告・行事についての話し合い・地域との情報交換・市からのお知らせなどが主な内容となっている。運営推進会議が地域とのパイプラインにもなっており、地域に溶け込んだ事業所運営に多いに活かされている。	

鹿児島県 グループホームポインタ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に参加して頂き、意見交換を行なっている。	運営推進会議に市職員が参加しており、情報交換や協力関係が築かれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所で勉強会を行い理解を深めている。日中玄関、テラスの窓は開放してある。	定期的な勉強会で身体拘束について職員全員が正しく理解できるように周知徹底している。また、マニュアルの見直しについても職員全員で話し合う機会を持ち、事業所の方針を定めている。利用者のこれまでの生活パターンをホームでも継続していけるように拘束のない安全で自由な生活を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所で勉強会を行い、職員全員で防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社会福祉協議会に依頼し権利擁護に関する制度の勉強会をしている。		

鹿児島県 グループホームポインタ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	運営者が行い、改定等では家族会時に資料にて説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時、家族会で意見を聞いている。	3ヵ月ごとに家族会を開いており、状況報告や今後についての話し合いなどが行われ、意見・要望等も気軽に表してもらえるように取り組んでいる。毎回ほぼ全家族の参加があり、家族もともに事業所運営や利用者を支える体制が築かれている。また、日常的にも来訪や利用者を連れての外出の機会も多く、家族と利用者との良好な関係が継続できるよう支援している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンス、申し送り時に聞いている。	毎朝の申し送り時や毎月の勉強会時に話し合う機会としている。働きやすい職場環境が造られているため離職が少なく、職員間で互いに学び合う姿勢も伺われる。資格取得の希望者についても事業所が支援する体制ができています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	有給休暇の取得。		

鹿児島県 グループホームポインタ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	外部研修を勧めている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	グループホーム協議会の研修会等に参加し意見交換を行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に自宅、ホーム等で面談を行い、思いを聴けるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前に面談を行い、思いを聴けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前のケアマネや関係者と情報交換を行なっている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員が入所者に、教え支えてもらい、入所者同士も声を掛け合い、助け合う姿が見られている。		

鹿児島県 グループホームポインタ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と意見交換をしながら、ご家族の出来る事をお願いし一緒に過ごして頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行きつけの美容室への送迎を行っている。	家族や地域の友人知人の来訪も多く、寄り合い処のようでもある。また、入居前からの美容室や本人希望による墓参りも家族の状況により職員が同行してなじみの人や場との関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ソファ、食堂の座る位置を考慮している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	会いに行ったり、行事に参加してもらっている。		

鹿児島県 グループホームポインタ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	会話や、意思確認をし意向の把握に努めている。	日常の会話や関わりの中から思いや意向を把握し、困難な場合は表情、言動などで本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所者、ご家族等から情報収集を行っている。また日々の関わりから情報を得る様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送り、ケアプランのカンファレンス時に意見を出し合っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランに基づき担当者がケア計画を作成している。	入居時に本人・家族の要望、職員の意見、提案など反映させて介護計画を作成している。定期的な見直しと変化があれば都度見直しを行い、現状に即した介護計画を作成している。	

鹿児島県 グループホームポインタ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録以外に、申し送り時に記入できる用紙があり、対応・結果まで記入しケアに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	主治医、他機関に相談しながら行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事に参加してもらい踊り等で行事を盛り上げてもらっている。防災訓練は消防署の指示を受け近隣住民にも参加してもらっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望があれば入所前のかかりつけにかかっている。	本人、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。往診の利用者とホームで受診同行している利用者があり、主治医の指示や変化があったときなど状況に応じて受診結果を家族に報告している。ホームに看護師も常勤しており利用者の健康管理が日常的におこなわれている。	

鹿児島県 グループホームポインタ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	看護職員が3名おり状態変化時は報告し、支援している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	主治医や医療連携室と連絡を取り合い、情報交換に努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	重度化した場合の家族の意向を聞いており、主治医に意見をもたらしながら、支援に取り組んでいる。	看取りについての指針を作成して入居時に説明し、家族の希望も聞いている。入居後は身体状況に応じて医師の指示のもと、家族と方向性を話し合っってホームで出来る最大限の支援に取り組んでいる。看護師を中心とした緊急時対応や応急処置の勉強会も定期的に行い、職員が不安なく支援できる体制をとっている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	事業所内の勉強会に消防署に来てもらい、急変時や対応の講習を受けている。		

鹿児島県 グループホームポインタ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年4回避難訓練を行っている。2回は消防署立ち会いで地域の方にも参加して頂いている。</p>	<p>定期的な避難訓練と自主訓練を行っている。地元消防団や近隣の方々の協力関係が築かれており、避難訓練時には地域の方々が参加して利用者の避難誘導にあたってくれる。津波や地震の際はホームが高台にあるためホームで待機することを定め、家族の同意も得ている。自動通報装置、スプリンクラーも設置され、備蓄についても庭に備蓄庫があり、確保されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日々職員同士で話し合い、心がけている。	定期的な勉強会と日常の業務の中で気づいたら注意し合うなどして職員の資質の向上に向けて取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	食事のメニューは意見を聞いて作るようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体調、天気等見ながら、意見を聞き過ごしてもらっている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	起床時に髪を整えたり、好みの洋服を買いに行ったりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたい物を聞くようにし、下ごしらえや味見をお願いしている。	きびなご、つわ、たけのこなど食材の下ごしらえを手伝ってもらったり、ときには、調理方法などを教わることもある。手作り弁当持参での外出やファミレス・ソーメン流しなどに出かけることもある。また、季節のいい時期は庭のテラスを利用し気分を変えてお茶や食事を楽しむこともある。	

鹿児島県 グループホームポインタ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人、ご家族から食事についての情報を聞くようにしている。食事・水分量を記入している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの声かけを行い、必要に応じて介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し出来るだけ失敗ないように誘導を行っている。トイレ動作では出来る事はしてもらい様子を見守りを行っている。	排せつチェック表を作成して個々の排せつパターンを把握し、日中はトイレでの排せつを支援している。個々の心身の状況を見極め、排せつの自立に向けた介護計画を作成している利用者もおり、改善に導いている。現在、自立している利用者が半数近くおり、維持できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事にきのこ類、芋等使うようにし、水分も勧めている。主治医に相談し下剤の調整を行っている。		

鹿児島県 グループホームポインタ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決めてあるが、声かを行いたい時に入浴出来る様にしている。	基本的には週3回だが、希望があれば毎日の入浴も可能で個々に応じた入浴の支援を行っている。家族とともに温泉に行く利用者もいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	状態に応じた支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方録を作り、職員がいつでも見れるようにしてある。服薬時は必ず手渡し服薬を確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	職員は入所者の役割、楽しみ等共有し支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の希望などでドライブに出かけている。	日常的にはホームの周辺の散歩にでかけたり、テラスに出て畑や山の自然を眺めゆっくりとした時間を過ごしている。ときには、手作り弁当持参の遠足や、外食、他のグループホームの催し物に出かけたり本人の希望による墓参りや買い物などの個別の外出支援も行っている。	

鹿児島県 グループホームポインタ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>状況に応じて、買い物に行き自分で選び支払いをしてもらっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望があれば電話をかけている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所者に温度等その都度聴くようにしている。庭に咲いた花をテーブルに飾り楽しんでいる。</p>	<p>共用空間は広く、木をふんだんに使った造りはあたたかさやさしさが感じられ、落ち着いた造りである。食事のダイニングとくつろぎのリビングに分かれ、メリハリのある生活を送ることができる。リビングから直接出ることのできるテラスにはイスが置かれ、利用者が畑や山を眺めながらゆっくりとした時間を過ごす癒しの場所でもある。台所もオープンで利用者が手伝いやすく食事のにおいを感じることができ、五感を刺激してくれる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>どこで過ごしたいか聞き、好きな場所で過ごせるように配慮している。</p>		

鹿児島県 グループホームポインタ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅の家具、位牌、写真等置いている。庭に咲いた花を入所者がとりに行き自室に飾られている。</p>	<p>居室の入り口ドアは障子で軒もあり、昔風の趣が感じられる造りである。居室は基本的にはエアコン以外の備え付けはなく個々に使い慣れた家具やお気に入りの飾り物、仏壇などが持ち込まれ家族と共に居室作りを行って個別性のある居室となっている。また、これまでの生活習慣の継続により畳敷きに布団の利用者もいる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>テラスに洗濯物を干しいつでも出入り出来、御自分の洗濯物を取り込む事が出来る。トイレは便所と表示してある。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホームポインタ

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホームポインタ

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない